

都立国際高校 年間授業計画 / Tokyo Metropolitan Kokusai High School Course Syllabus

○ 科目基礎情報 (Course information)

開講年度 (Academic year)	令和4年度 (2022 年度)
開講学科 (Department)	国際学科国際バカロレアコース / IBDP(International Baccalaureate Diploma Programme)
教科 (Subject Area)	国語
科目 (Subject)	言語文化
担当者 (Subject Teacher)	
学年・クラス (Grade・Class)	1学年
単位数 (Number of units)	3
使用教科書 (Text Books)	言語文化(第一学習社)
校外学習 (Field trip)	なし

○ 教科の目標 (Goals of the subject area)

<p>【知識及び技能】 (Knowledge and Skills)</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな媒体や形式、異なる時代、スタイル、文化の中で生産された、多様なテキストを分析することができる。 解釈や分析、評価のために必要な批評理論を知り、適用することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】 (Ability to think, make judgements, express themselves)</p> <ul style="list-style-type: none"> 話すこと、読むこと、書くこと、発表すること等、言語的なパフォーマンスに関するスキルを身に付ける。 テキストと多様なものの見方、文化的文脈、地域とグローバルな問題とのかかわりについて理解を深め、それらがどのように多様な意味や応答をもたらすのかについて表現することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】 (Motivation to learn, Humanity)</p> <ul style="list-style-type: none"> テキストの諸形式がもたらす美的な性質への感性を磨き、それらがどのように多様な意味や応答をもたらすのかについて鑑賞できる。 自信を持ち、創造的な方法でコミュニケーションを取り、協働することができる。 言語と文化に対して、生涯にわたって関心と喜びを見出し、探究の基盤を身に付ける。
--

○ 科目の目標 (Goals of the subject)

【知識及び技能】 (Knowledge and Skills)	【思考力、判断力、表現力等】 (Ability to think, make judgements, express themselves)	【学びに向かう力、人間性等】 (Motivation to learn, Humanity)
<ul style="list-style-type: none"> 小説や詩、古典を含む多様なテキストの概要、明示的な意味及び含意について理解できる。 文学史的な知識を踏まえながら、テキストが書かれた文脈とそれが読まれる文脈についての理解を持つことができる。 言語の使い方がどのように意味を生み出すのかを分析するための視点を理解することができる。 漢字を正確に読み、書くことを通して、テキストに対する理解をより厳密に示すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説や詩、古典を含む多様なテキストを批評し、文章の形で他者に示すことができる。 様々なテキストにおいて、言語の使い方がどのように意味を生み出しているのかについて分析し、その効果について評価することができる。 様々なスタイルやレジスターを用い、多様な目的と状況に応じて表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 読解や議論、発表といった言語活動を通して、IBにおける「10の学習者像」に示された目標を実現するように努めることができる。 文学の探究を通して、学習へと向かうための力 (IBにおけるATLスキル) を確実に身に付ける。 他者とコミュニケーションをとり、協働しながら文学作品を探究することができる。 言語と文学に大して、生涯にわたって関心を持つための基盤を身に付けることができる。

○ 授業計画 (Course schedule)

Allocated hours

単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	領域			評価規準 Evaluation Criteria	知 ①	思 ②	態 ③	配当 時数
		話・聞	書	読					
<p>単元名：読者、作者、テキスト</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な作品に触れることを通して、テキスト読解に必要な知識・技能を身に付ける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> テキストが生み出される際に行われている作者の選択や、それによって生み出される表現効果に着目し、分析することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な作品に触れ、それらを主体的に読解するとともに、他者と協働して読みを深めようとするすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説『羅生門』 小説の面白さを味わわせ、主体的な読解の仕方を身に付ける。作者の技巧や表現などを分析し、自分の解釈を的確に表現する。 古文「古文基礎」 古文の基本的な決まりや特徴を理解する。 「児のそら寝」 古典作品に見られる日本の文化や考え方と現代の相似について理解を深める。古語や、用言を中心とした基本的な古語分布について理解を深める。 一人1台端末の活用 「思考ノート」の活用 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 各項目においてすべての言語領域 (読み・書き・話す/聞く) で十分な能力を発揮している。 各項目において主要となる作者の選択・表現技巧について理解している。 各項目での歴史的背景・文化的背景について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 単元や作品ごとの分析批評、レポート、振り返りで、独自の視点を用いて表現技巧の効果について論じることができている。 プレゼンテーションでは内容、構成、表現、聴衆を意識しながら文学作品の分析について発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 「思考ノート」に授業後の自分の学びを明確に記し、前向きに学ぼうとする意欲を示している。継続的に言語文化に興味・関心を示している。 言語や文学を通して異文化を尊重する力を身につけている。 課題を期日までに提出している。 	○	○	○	18
<p>定期考査 Examination</p>						○	○		1

1 semester)

1学期 (1st)	<p>単元名：読者、作者、テキスト</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な作品に触れることを通して、テキスト読解に必要な知識・技能を身に付ける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> テキストが生み出される際に行われている作者の選択や、それによって生み出される表現効果に着目し、分析することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な作品に触れ、それらを主体的に読解するとともに、他者と協働して読みを深めようとする事ができる。 	<p>・小説『小僧の神様』</p> <p>小説の面白さを味わわせ、主体的な読解の仕方を身につける。作者の技巧や表現などを分析し、自分の解釈を的確に表現する。</p> <p>・詩「自分の感受性くらい」、「くらげの唄」</p> <p>近代詩・現代詩に親しみ、詩の言葉や技法に着目して鑑賞する方法を身につける。</p> <p>・漢文「漢文基礎」</p> <p>漢文の基本的な決まりや特徴を理解する。</p> <p>・漢文「漁夫の利」</p> <p>漢文の句法や語の意味に注意しながら、性格に内容を把握する。</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>・「思考ノート」の活用</p>	○	○	○	<p>●【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各項目においてすべての言語領域（読み・書き・話す/聞く）で十分な能力を発揮している。 各項目において主要となる作者の選択・表現技巧について理解している。 各項目での歴史的背景・文化的背景について理解を深めている。 <p>●【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元や作品ごとの分析批評、レポート、振り返りで、独自の視点を用いて表現技巧の効果について論じることができる。 プレゼンテーションでは内容、構成、表現、聴衆を意識しながら文学作品の分析について発表することができる。 	○	○	○	20
定期考査	Examination						○	○		1
2学期 (2nd semester)	<p>単元名：時間と空間</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> あるテキストが産出された時代的または空間的な文脈に関する知識と理解を深め、それらを読解に活用することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> あるテキストが産出された時代的または空間的な文脈が、どの程度、どのようにテキスト内に反映されるのかについて、分析し、評価することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な作品に触れ、それらを主体的に読解するとともに、他者と協働して読みを深めようとする事ができる。 	<p>・小説『夢十夜』（第一夜・第六夜）</p> <p>小説の面白さを味わわせ、主体的な読解の仕方を身につける。作者の技巧や表現などを分析し、自分の解釈を的確に表現する。</p> <p>・古典『伊勢物語』</p> <p>歌物語における和歌の役割、その技巧、また文章全体への効果について理解する。和歌に用いられる古語や詠まれた内容を通して、昔の人々の風俗や価値観を理解する。</p> <p>・漢文「狐借虎威」</p> <p>漢文の句法や語の意味に注意しながら、正確に内容を把握する。</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>・「思考ノート」の活用</p>	○	○	○	<p>●【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各項目においてすべての言語領域（読み・書き・話す/聞く）で十分な能力を発揮している。 各項目において主要となる作者の選択・表現技巧について理解している。 各項目での歴史的背景・文化的背景について理解を深めている。 <p>●【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元や作品ごとの分析批評、レポート、振り返りで、独自の視点を用いて表現技巧の効果について論じることができる。 プレゼンテーションでは内容、構成、表現、聴衆を意識しながら文学作品の分析について発表することができる。 	○	○	○	27
定期考査	Examination						○	○		1
2学期 (2nd semester)	<p>単元名：時間と空間</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> あるテキストが産出された時代的または空間的な文脈に関する知識と理解を深め、それらを読解に活用することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> あるテキストが産出された時代的または空間的な文脈が、どの程度、どのようにテキスト内に反映されるのかについて、分析し、評価することができる。 文学作品がどのようにグローバル問題を探究しているのかについて、自分なりに分析することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な作品に触れ、それらを主体的に読解するとともに、他者と協働して読みを深めようとする事ができる。 	<p>・随筆『象を撃つ』</p> <p>小説の面白さを味わわせ、主体的な読解の仕方を身につける。作者の技巧や表現などを分析し、自分の解釈を的確に表現する。</p> <p>・古文『徒然草』</p> <p>古文の遺筆の内容と現代の思想を比較する。</p> <p>・古文 和歌(万葉・古今・新古今)、百人一首</p> <p>短歌・和歌に用いられる技巧と背景となる文化について理解を深める。</p> <p>・漢文「完璧」</p> <p>漢文の句法や語の意味に注意しながら、正確に内容を把握する。</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>・「思考ノート」の活用</p>	○	○	○	<p>●【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各項目においてすべての言語領域（読み・書き・話す/聞く）で十分な能力を発揮している。 各項目において主要となる作者の選択・表現技巧について理解している。 各項目での歴史的背景・文化的背景について理解を深めている。 <p>●【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元や作品ごとの分析批評、レポート、振り返りで、独自の視点を用いて表現技巧の効果について論じることができる。 プレゼンテーションでは内容、構成、表現、聴衆を意識しながら文学作品の分析について発表することができる。 	○	○	○	27
定期考査	Examination									1

3学期 (3rd semester)	<p>単元名: テキスト間相互関連性</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト間の関係性を思考するための方法として、文学理論を踏まえた分析の視点(階級、ジェンダー、文体、語り等)について一定の理解を得る。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト間の関係性を思考するための方法として、文学理論を踏まえた分析の視点(階級、ジェンダー、文体、語り等)に基づきつつ、独自の観点から批評を行おうとすることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な作品に触れ、それらを主体的に読解するとともに、他者と協働して読みを深めようすることができる。 	<p>・小説『山月記』</p> <p>小説の面白さを味わわせ、主体的な読解の仕方を身につける。作者の技巧や表現などを分析し、自分の解釈を的確に表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末の活用 ・「思考ノート」の活用 	○	○	○	<p>●【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各項目においてすべての言語領域（読み・書き・話す/聞く）で十分な能力を発揮している。 ・各項目において主要となる作者の選択・表現技巧について理解している。 ・各項目での歴史的背景・文化的背景について理解を深めている。 <p>●【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や作品ごとの分析批評、レポート、振り返りで、独自の視点を用いて表現技巧の効果について論じることができている。 ・プレゼンテーションでは内容、構成、表現、聴衆を意識しながら文学作品の分析について発表することができる。 <p>●【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「思考ノート」に授業後の自分の学びを明確に記し、前向きに学ぼうとする意欲を示している。継続的に言語文化に興味・関心を示している。 ・言語や文学を通して異文化を尊重する力を身につけている。 ・課題を期日までに提出している。 	○	○	○	20	
	<p>定期考査 Examination</p>								○	○	○

総授業時数 Total hours	117
----------------------	-----